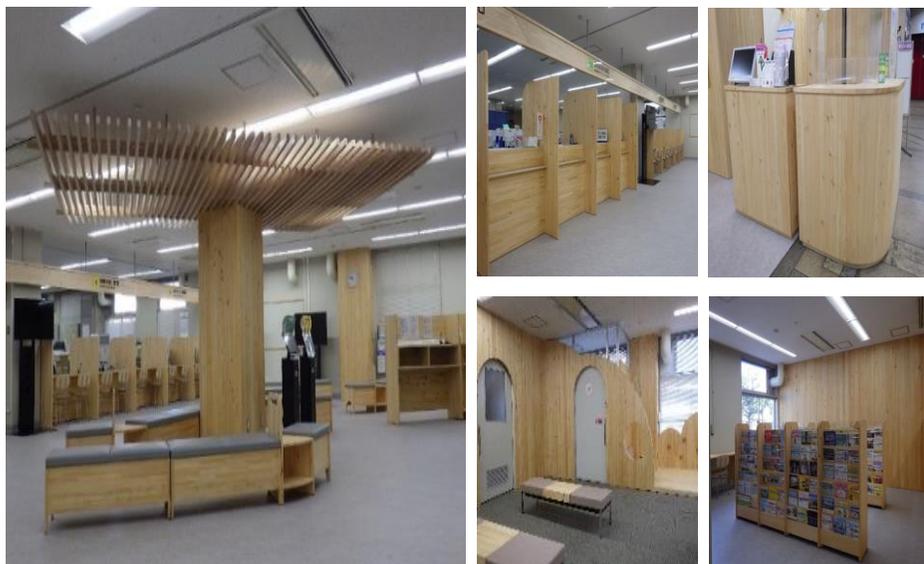


- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- ▶ また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した庁舎整備

- ・国産木材を活用して旭区役所庁舎の木質化、木製什器の導入を行った。
- 【事業費】43,050千円（うち譲与税43,050千円）
- 【実績】壁面等木質化、カウンター、記載台、ベンチ、椅子等の導入



□ 事業スキーム

- ・公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- ・庁舎の木質化・木製什器の導入を行い、来庁者が木材を身近に感じてもらえる空間づくりを行った。また、案内サインの見直しもを行い、来庁者にとってわかりやすく、快適で利用しやすい区役所づくりのための整備を行った。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より